

2012 年 9 月 28 日

2012 年 IEEE 広島支部第 3 回理事会議案書

日時: 2012 年 9 月 28 日(金) 15:00～16:30

場所: 島根大学 総合理工学部 1 号館 第二会議室

参加者 (議決権保有者数): 13 名

堀田、舟阪、田岡、大久保、田村、福嶋、山本(真)、
上土井、紀和、平川、山本(透) (委任状: 近藤、市村)

議題

1. 第 2 回 IEEE Japan Council 理事会報告 [資料 1]

堀田支部長が第 2 回 IEEE Japan Council 理事会報告を行った。

2. 役員選挙について

以下の項目について、2012 年役員選挙委員会委員長 田村理事が報告し、理事会で確認・承認された。

- ・ 役員候補者報告
現在までに推薦されている役員候補者，理事候補者について報告有。
- ・ 今後の予定
今後の予定を確認し，監査委員候補について，今後，推薦委員長の指示により選出することを確認。
- ・ その他
将来的な電子投票システムの導入について，支部長より，JC 理事会へ提案済である報告有。電子投票システムへ移行した場合の投票率低下に関する意見交換が行われた。

3. 第 14 回 HISS について

- ・ 準備について [資料 2]

- ・ 福嶋理事が、準備状況等について、ほぼ順調に進んでいることを説明した。
- ・ 18 日の研究室・企業展示およびテクニカルプレゼンテーションの時間帯に電子情報通信学会中国支部主催の【携帯あわ〜ど】の表彰式が予定されているが、HISS の運営にできるだけ支障が起きないように実施していただくように、依頼することとなった。
- ・ 論文投稿の取り下げが 2 件あり、投稿数はそれを引いた 187 件とすることになった。
- ・ 原稿料の支払いに関する情報は 10 月 1 日に公表することを確認した。

- ・ 研究賞の審査方法

田岡庶務幹事が、前回の研究賞の審査方法について説明し、今回も同様に行うことを承認された。

4. IEEE 広島支部功績賞について

[資料 3]

堀田支部長から IEEE 広島支部功績賞の推薦について説明し、栗井 郁雄氏（株式会社リューテック）を最終候補者として決定し、以後の処理を進めることとなった。

5. その他

- ・ HISS 論文集の ISSN 取得について

堀田支部長が、HISS 論文集の ISSN 取得方法について説明した。申請には過去の論文集が必要なため、引継ぎ資料の確認、足りないものは理事等が用意することになった。これと同時に、過去のものが不要なような申請方法を検討する。

【資料 1】

2012 年第 2 回 IEEE Japan Council 理事会 議事録

日時： 2012 年 7 月 27 日（金）14:00～16:00

場所： TKP ガーデンシティ札幌きょうさいサロン

出席者： 今井 Chair、小柴 Vice Chair、有本 Secretary、

小川、澤谷、大石、青山、雁部、岩田、片桐、堀田、都築、笹尾、黒部、井家上、花輪、橋本(秀)、橋本(隆)、岩井、大野、南、尾上、Park

オブザーバー：[Japan Office]百武、[札幌支部]大鐘、宮永(敬称略、順不同)、事務局

議題：

1. 前回理事会資料の確認(審議)
2. 2013/2014 年役員選出について(審議)
3. 2012 年上半期会計報告および Section 支援費申請状況報告
4. 常設委員会活動報告
 - 4-1 Chapter Operations Committee
 - 4-2 Student Activities Committee
5. Ad-Hoc 委員会活動報告
 - 5-1 Long Range Strategy Committee
 - 5-2 History Committee
6. 各支部活動報告
7. その他
 - 7-1 WIE 活動報告
 - 7-2 MGA SD&EA Meeting 報告
 - 7-3 R10-HTC2013 への共催参加について
 - 7-4 [参考] Society 別・支部別会員数の推移

議事：

1. 前回理事会資料の確認（審議）

有本 Secretary より、前回(2012 年第 1 回)理事会の議事録案の説明がなされ、異議無く承認された。

2. 2013/2014 年役員選出について（審議）

Nominating Committee 花輪 Chair より、2013-2014 年 JC 役員候補者の推薦について説明があり、異議無く了承された。

※ Chair：小山正樹(奈良先端大：名誉教授)、Vice-Chair：白鳥則郎(早稲田大：教授、東北大：名誉教授)

Secretary：千葉勇(三菱電機)、Treasurer：高村誠之(NTT サイバースペース研)

3. 2012 年上半期会計報告および Section 支援費申請状況報告

河野 Treasurer の代理として有本 Secretary より、2012 年上半期会計について報告があった。IEEE 本部からの Chapter Rebate が遅れているが依頼済みであること、予算は円高基調で厳しい状況であるため、経費削減を継続して徹底する必要があることなどが述べられた。会議室利用費の削減策として、

利用料が比較的安価な機械振興会館だけでなく、大学を積極的に利用してはどうかなどの提案があった。

4. 常設委員会活動報告

4-1 Chapter Operations Committee

Chapter Operations Committee 黒部 Chair より、2012 年活動状況として、第 1 回の Chapter Operations Committee Meeting の議事内容、Chapter 支援費の計画と実績、Award 登録状況等について報告があった。Chapter 支援費削減策として、各事業支援の上限額を 9 万円に引き下げる(従来額は 20 万円)ことなどが述べられた。

(JC Chapter のセクション移行に関して別途、質疑があった。本件に関してはさらに関係者で検討を進め、次回の理事会で議論することになった。)

4-2 Student Activities Committee

Student Activities Committee 井家上 Chair より 2012 年度の活動状況・今後の計画について報告があった。Student Branch の設立・活性化を目指して活動を進めており、12 月に明治大学で Student Branch Leadership Training Workshop を開催予定(※12/15?)であること、海外支部との学生交流を活発化する旨などが述べられた。橋本(秀)承認理事より、円高をうまく利用し、またグローバル化の観点から近隣のソウル支部との連携を積極的に進めるべきとの提案があり、今後の検討課題となった。また四国支部の都築 Chair より、来月から高知県内 3 大学連携の Student Branch が活動開始予定であることが述べられた。

5. Ad-Hoc 委員会活動報告

5-1 Long Range Strategy Committee

5-2 History Committee

JCHC 大野 Chair より、IEEE Milestone の状況、IEEE Technical Tour of Japan の概要などについて報告があった。Milestone については NTT と KDDI の「G3 ファクシミリの国際標準化」が日本で 17 番目の Milestone に認定され、4 月 5 日に贈呈式が開催されたことなどが述べられた。また、5/20-28 に開催した TTJ については、昨年の大震災や円高といった逆境にも拘わらず、計 27 名の参加者を得ることができたこと、Milestone 受賞組織を中心に訪問して日本の技術・企業の歴史に対する海外参加者の理解を深めることができたこと、各支部の会員に呼び掛けたところ計 26 名が部分参加し、訪問者との交流に貢献したことなど、成功裏に終えることができた旨が述べられた。

※ 支部担当選出依頼が後日ある。

6. 各支部活動報告

6-1 札幌支部

小川 Chair より、支部総会、理事会、共催・主催事業、講演会、会員数増強・Fellow 昇格の推進等について紹介があった。

6-2 仙台支部

澤谷 Chair より、支部役員会、支部幹事会、新 Fellow 記念講演会、Student Activities、Chapter の新設検討、会員数増強・Fellow 昇格の推進等の活動について紹介があった。

6-3 信越支部

大石 Chair より、支部役員会、講演会、会員数や Senior Member 申請者数の増強に向けた施策、2013-2014 の役員選挙に向けた準備等について紹介があった。

6-4 東京支部

青山 Chair より、支部活動について報告があった。NTT & KDDI のマイルストーン式典を開催し、Gordon Day 会長に出席頂いたこと、翌日に会長の講演会を開催し、学生・若手技術者を中心に活発

な議論を行ったことなどが述べられた。

6-5 名古屋支部

岩田 Chair より、支部活動として、TTJ への協力、国際会議研究の発表助成、受賞関連の準備、Bylaws の見直し準備、役員選挙の準備、講演会・協賛の実施、チャプタの新設等について報告があった。

6-6 関西支部

片桐 Chair より、支部総会、理事会、講演会、Committee 活動、Chapter 活動、TTJ への協力、協賛・後援、WIE 活動、情報発信(Web ページ更新準備、News Letter 発行)等について報告があった。

6-7 広島支部

堀田 Chair より、支部総会、講演会、支部学生シンポジウム(HISS)、理事会、協賛・後援等の活動、支部功績賞の選考、役員選挙の準備等について報告があった。

6-8 四国支部

都築 Chair より、役員会の開催状況、講演会、Committee 活動(Senior Member 申請者数の増強、Student Activities、役員選挙の準備)等の報告があった。

6-9 福岡支部

笹尾 Chair より、理事会、学生表彰関係、講演会・研究会の開催状況、Section History の作成、会員数増強・上級会員増に向けた取組み等について報告があった。

7. その他

7-1 WIE 活動報告

橋本(隆)Chair より活動報告があり、GOLD/LMAG と連携して講演会や交流会を開催したこと、Gordon Day 会長講演会の際に、WIE の取組みを報告し活発な議論を行ったこと、6 月に Tokyo GOLD と共催で学生・若手技術者のためのキャリアワークショップを開催したこと等が述べられた。

7-2 MGA SD&EA Meeting 報告

有本 Secretary より、5/11 に MGA SD&EA Committee Meeting が東京支部/Japan Council 合同で開催され、IEEE 本部から 10 名、東京支部/JC から 11 名が参加し、日本における IEEE 会員数増加や会員の満足度向上に向けた施策について議論を行った旨が述べられた。

7-3 R10-HTC2013 への共催参加について

雁部 JC 開催検討担当理事より R10-HTC (Humanitarian Technologies Conference)2013 への共催参加について報告があった。その中で、運営組織(Conference President, Organizing Chair/Vice Chair, Advisory Committee メンバー)の提案、及び運営組織の最終決定を Organizing Chair に一任することの提案がなされ、異議無く承認された。また今後は Organizing Committee が主体となり開催に向けて準備を進めることが確認された。

7-4 [参考] Society 別・支部別会員数の推移

有本 Secretary より、Society 別・支部別会員数の推移について説明があった。

※8. その他

8-1 2013 Region 10 Humanitarian Technologies Conference (R10-HTC2013)の日本開催について

2013 年(日本側の希望:8 月末東北地方開催)に日本で開催される。国内 9 支部の共同運営(共催)。実質的には R10-HT Activities Group が主導。

8-2 2013 Region 10 Annual Meeting (速報)

2013 年 3 月 2(土)~3(日)日 タイのチェンマイ市で開催される予定で準備が進んでいる。次期役員に引継が必要。

8-3 IEEE 紹介用リーフレット(日本語版)

IEEE 紹介用リーフレット(日本語版)が出来上がった。必要な場合には IEEE Japan に依頼すれば送付してもらえる。

【資料 2】

第 14 回 HISS実行委員からの現状報告

1. テクニカルプレゼンテーション

査読用論文概要の投稿数は 189 件(取り下げ 2 件を引くと 187 件)。全ての論文を採択。最終論文締切 9 月 30 日。

2. 基調講演

題目：基礎研究から実用化まで、無線 LAN の流れ

講演者：芹澤睦氏（株式会社東芝研究開発センター次長）

概要： 1980 年代後半の無線 LAN の基礎研究から、IEEE での標準化と製品化、普及にいたる流れについて概観する。当初の自由な研究開発が徐々に世の中の流れと合わさりどのように主流となっていったか、さらにそれらの普及にともないどのようなアプリケーションが開発されてきたか、講演者ならびに共同研究者の実体験を交えつつ話したい。

3. 特別講演

題目：岡山から世界を牽引する セラミック多層基板技術の紹介

講演者：西出充良氏（株式会社岡山村田製作所第 3 製造部担当部長）

概要： 岡山村田製作所は、京都に本社がある世界的電子部品メーカー村田グループ企業にあって、グループで唯一、材料から完成品までの一貫生産体制を持つ重要拠点です。岡山村田で生産する電子部品の中でも、セラミック多層基板を用いたモジュール部品は、携帯電話をはじめとした情報端末の小型高性能化になくてはならない製品ですが、岡山村田はその技術力・規模ともに世界 No 1 のシェアをもち、草創期より長く業界を牽引しています。

一方、電気電子産業界にあって、技術力で世界市場を引っ張ってきた日本ですが、近年、韓国や中国の勢いに押され、かつての勢いはなく、国内大手企業は海外に生産場所をシフトさせている現状です。今回の講演では、電子業界の最新動向を紹介するとともに、岡山村田の得意技術であるセラミック多層基板の今後の展開を示しながら、今後の若き技術者のありかたを考えます。

3. 体験講座

題目：Android アプリのプログラミング体験講座

講師：岡山県立大学情報通信工学科 滝本裕則先生

岡山県立大学情報通信工学科 荒井 剛先生

4. 研究室展示、企業展示

研究室展示（6 件）

岡山大学	阿部研究室
高知工業高等専門学校	佐藤研究室
鳥取大学	岩井研究室
松江工業高等専門学校	宮内研究室
島根大学	平川研究室

津山工業専門学校 中村研究室
企業展示（2件）
岡山村田製作所
ウェブクリエイティブ

5. 共催・協賛・後援の状況

共催	電気学会中国支部
協賛	岡山県立大学 中国電力技術研究財団
後援	岡山大学 島根大学 鳥取大学大学院工学研究科・工学部 広島大学大学院工学研究科 広島市立大学大学院情報科学研究科 山口大学大学院理工学研究科 映像情報メディア学会中国支部 応用物理学会中国四国支部 情報処理学会中国支部 電気設備学会中国支部 電子情報通信学会中国支部 計測自動制御学会中国支部

6. 協賛金、後援金の状況

中国電力技術研究財団	10万円(入金済み)
電気学会中国支部	5万円（9月中に申請予定）
映像情報メディア学会中国支部	1万円（入金済み）
応用物理学会中国四国支部	0円
情報処理学会中国支部	2万円（入金済み）
電気設備学会中国支部	2万円（入金済み）
電子情報通信学会中国支部	0円（今年から一般社団法人になったため後援金の支払いが不可に）
計測自動制御学会中国支部	0円

（その他 JC に 24 万円申請中、IEEE 広島支部から約 40 万円。）

7. タイムテーブル

11月17日（土）

11:30	開場
12:30～13:00	開会式
13:00～14:30	基調講演

・講演題目：基礎研究から実用化まで、無線LANの流れ

・講演者： 芹澤 睦氏（株式会社 東芝 研究開発センター）

14:30～15:00 展示、テクニカルプレゼンテーション準備

15:00～18:00 研究室・企業展示、テクニカルプレゼンテーション、
体験講座

※体験講座：Android アプリのプログラミング体験講座

18:30～20:00 学生交流会

11月18日（日）

09:00 開場

09:30～12:30 研究室・企業展示、テクニカルプレゼンテーション

13:30～15:00 特別講演

・講演題目：岡山から世界を牽引する セラミック多層基板技術の紹介

・講演者： 西出 充良氏（株式会社 岡山村田製作所
第3製造部担当部長）

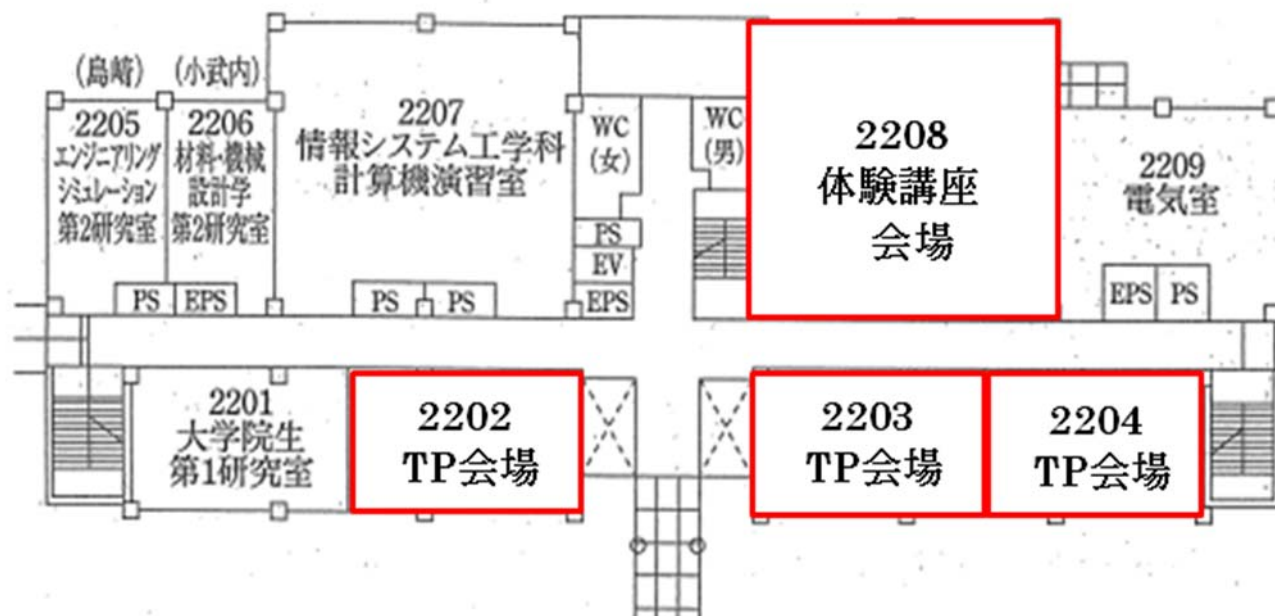
15:10～15:40 表彰式・閉会式

※18日の研究室・企業展示およびテクニカルプレゼンテーションの時間帯に【携帯あわ〜ど】の表彰式を予定

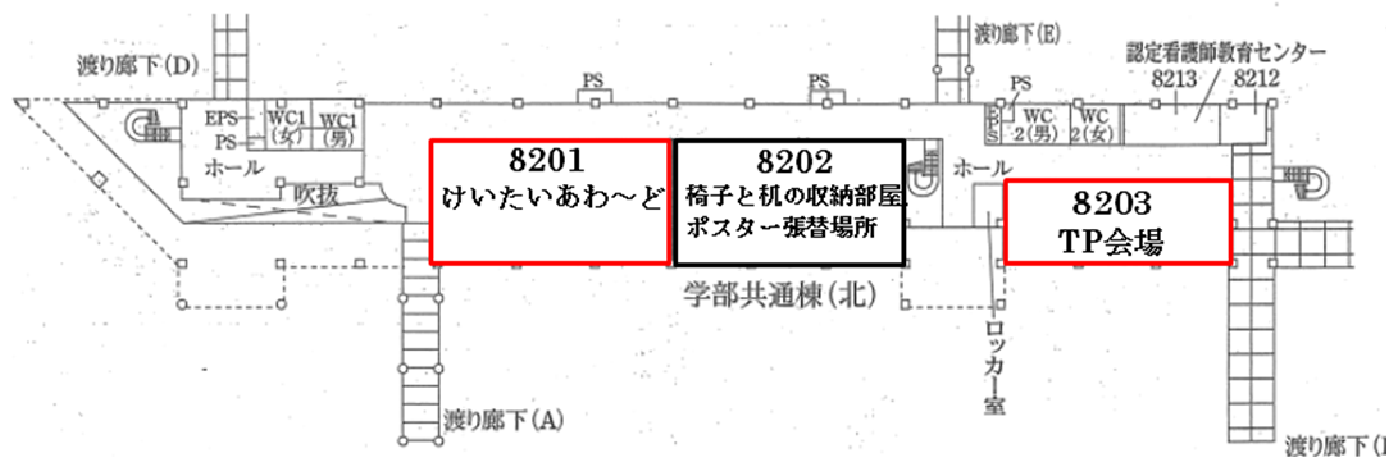
8. 会場配置図



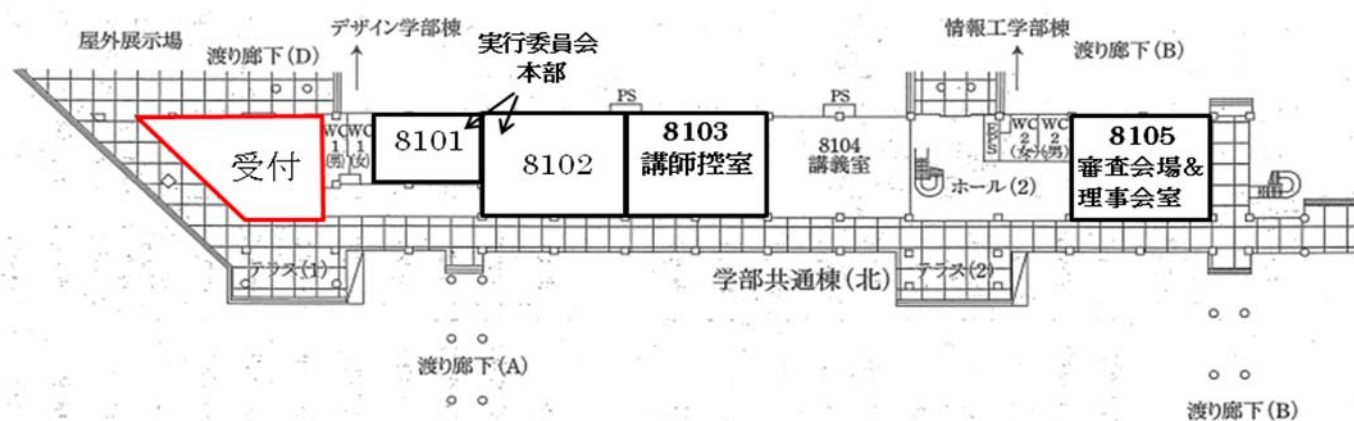
情報工学部棟2階平面図



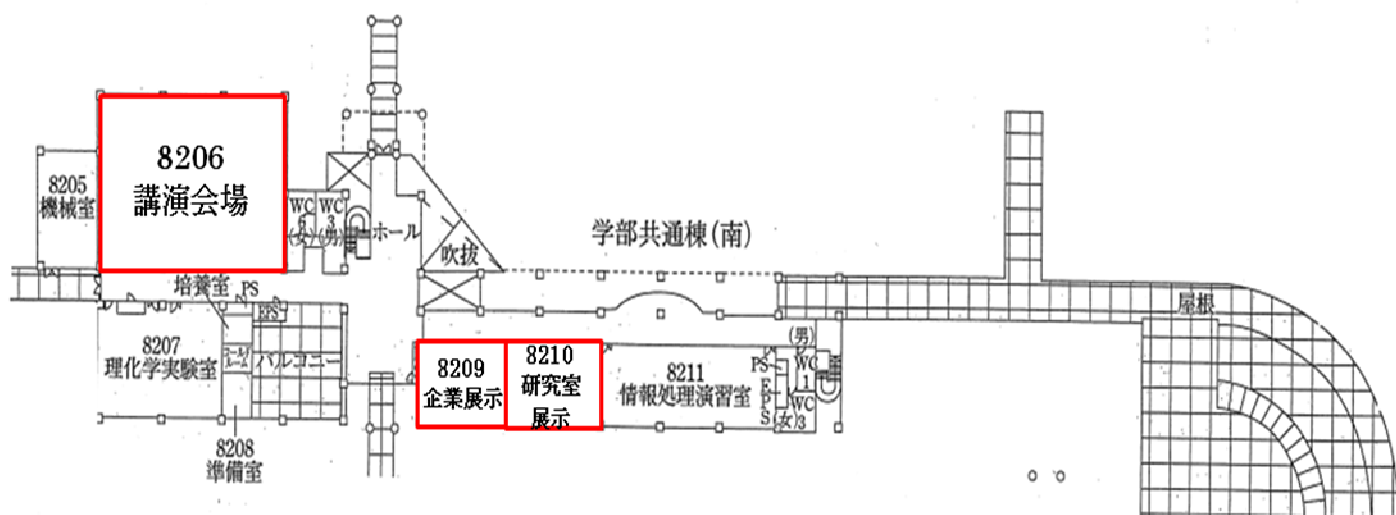
学部共通棟(北)2階平面図



学部共通棟(北)1階平面図



学部共通棟(南)2階平面図



9. 実行委員の移動

鳥取大学から選出の広報委員一名が7月末で、岡山県立大学から選出の企画講演委員一名が9月末で委員を辞めた。

【資料 3】

【功績賞推薦様式】

- =====
- ・ 候補者名： 栗井 郁雄（あわい いくお）
 - ・ 候補者所属： 株式会社リューテック
 - ・ 候補者連絡先：

〒520-2194

滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5 龍谷大学 REC ホール

TEL : 077-543-7815

FAX : 077-543-7815

E-mail : awai@ryutech.com

- ・ 功績対象の業績（1 行以内）

IEEE 広島支部の運営と Yamaguchi University Student Branch 設立に関する貢献

- ・ 推薦理由（なぜ功績賞の対象となるかを具体的に、できれば定量的な表現を含んで記載してください。200 字以内）

2001～2002 年の間、IEEE 広島支部支部長として支部運営や活動活性化にご尽力され、支部の発展に寄与された。また、在任中に支部内唯一の IEEE Student Branch である Yamaguchi University Student Branch（2011 年度に設立 10 周年）を立ち上げるなど多大なる貢献をされた。

-
- ・ 推薦者名：堀田昌志 [Senior Member] [会員番号:02016434] [IEEE 広島支部支部長]

- ・ 推薦者（代表者）所属：山口大学大学院理工学研究科

- ・ 推薦者（代表者）連絡先：

〒755-8611

山口県宇部市常盤台 2-16-1

TEL : 0836-85-9436

FAX : 0836-85-9401

E-mail : mhotta@ieee.org

=====